

【 外国にルーツを持つ児童生徒へのきめ細やかな支援事業 実施イメージ 】

小中学校

ケース会議

児童生徒の生活・就学歴・家庭環境・日本語の力等を把握し、必要な支援と役割を確認。
校内関係者、日本語指導コーディネーター、スクールソーシャルワーカー(SSW)等

特別の教育課程の編成

日本語指導コーディネーター、在籍校担当教員が連携し、ケース会議の内容を踏まえ日本語指導の計画を作成。

取り出し等による日本語指導

日本語指導コーディネーターが、指導計画に基づき日本語指導をおよび相談対応を行う。

連絡協議会(4月)

特別の教育課程による日本語指導、支援制度の周知
外国にルーツを持つ児童生徒受け入れに関する研修
【構成員】
在籍校担当者、日本語指導コーディネーター、SSW、市教委学校教育課、定住交流課

支援要請
相談
報告

助言
派遣



日本語指導コーディネーター

アセスメントによる日本語能力把握、ケース会議への参加、担当教員と共同で教育課程を編成、日本語指導の実施

福島市教育委員会

外国人生活相談窓口

福島市国際交流協会

連携

福島市定住交流課

支援のネットワークを構築
⇒散在・突発的なニーズに対応可能

地域日本語教室

SSW

国際交流員

通訳人材

登録

育成

